

11月1日

会員の向井幸治さんから「阿蘇山噴火(10月20日)」のメールが事務局に届きましたので、お知らせいたします。



向井さんが撮影した写真

向井さんからのメッセージ

「こんにちは。久々に大きな噴火でしたが、風向きが反対方向で降灰はありません。治まってくればいいのですが、こればかりはどうしようもありません。我が家は大丈夫です。」

熊本県にある阿蘇山の中岳第一火口で10月20日午前、噴火が発生し、噴煙が火口から3500メートルまで上がり、火砕流が最大で1.6キロまで流れ下ったほか、周辺の広い範囲に火山灰が降りました。気象庁は阿蘇山に火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを3に引き上げ、火口からおおむね2キロの範囲で大きな噴石や火砕流に警戒し、危険地域に立ち入らないよう呼びかけています。

向井さんの近況は「たより34号」に掲載されております。退職後に阿蘇山のふもとに引越されてスローライフをされています。

向井さんの自宅は火口から直線距離で4キロの所にあります。阿蘇山の2016年10月の爆発的な噴火では降灰の被害に遭われています。

この日は、自宅近くの国立阿蘇青少年交流の家に出かけていて、噴火に遭遇して、写真を撮ったそうです。今回は被害がなかったということで何よりでした。